久喜市議会
令和２年９月定例会
議員提出議案質疑通告

令和２年９月３０日（水）

質疑通告者一覧

【意見第 ７ 号　オンライン本会議の実現に必要となる地方自治法改正を求める意見書】
通告第 ３ 号　平　沢　健一郎　議員 ･･･ １

【意見第 ９ 号　子どもたちに少人数学級を求める意見書】
通告第 ２ 号　井　上　忠　昭　議員 ･･･ ２

【意見第１０号　ＰＣＲ検査等の拡充を求める意見書】
通告第 １ 号　並　木　隆　一　議員 ･･･ ３
通告第 ３ 号　平　沢　健一郎　議員 ･･･ ３

意見第 7 号	オンライン本会議の実現に必要となる地方自治法改正を求める意見書

○　通告第 3 号　平　沢　健一郎　議員

（１）定足数を満たす人数の議員が議場（招集場所）に参集出来ない状況で、感染症拡大で議員が隔離された場合とあるが、他にどのような状況を想定しているのか。

（２）「首長の専決処分を漫然と許すこと」とあるが、臨時議会を開催することで対応できると考えるが、どのように考えるか。

（３）この意見書は、遠隔地から電子採決による議決とある。オンライン会議になれば、議会の出席義務はどのようになるのか。出席義務がなくなれば、報酬のあり方も変わると考えるがどのように考えるか。

（４）オンライン議会を実施するに当たり、久喜市の執行部は電子化が進んでいないが、どのように参加を求めるのか。

（５）育児や介護で容易に外出できない議員とあるが、もう一方で育児や介護休暇の議論もある。

　どのように考えるか。

意見第 ９ 号	子どもたちに少人数学級を求める意見書

○　通告第 ２ 号　井上　忠昭　議員

（１）少人数学級の実現を求める声が大きくなっている背景のひとつが「コロナ対策として、感染予防のため」があると思います。提案理由のなかで口頭では言われていましたが、記載はありません。記載すべきであったと思いますが、なにか理由があったのでしょうか。また、これについてはどう考えられていますか。

（２）背景の他のものとして「教師は、少人数学級でより丁寧に一人一人の児童生徒のことを見られる」「教師の負担が軽減される」ということが言われています。前者については、学力テストの計測や、子ども達の勤勉さ・自制心・自己肯定感の３つでの測定で効果を検証していたものがあり、また後者についても、多くの先行研究で分析がなされていますが、実際には見解が分かれています。これら背景については、提出者はどのように考えていますか。また現実に久喜市のなかでも地域的に差があって、少人数になっているところと多人数のところとがあります。これを踏まえてみた場合、児童生徒や、教師の負担に差が出来ていると考えますか。

（３）少人数学級とはいっても、それを久喜市に当てはめて考えた場合、少人数学級を３０名以下、２０名程度としても、教室が足りなくなるところがあるなど問題が出てきます。また、久喜市に限ったことではありませんが、少人数学級になったとして、国や自治体は、厳しい財政状況があるために非正規雇用となって別の問題が生じる可能性なども指摘されています。他にもいろいろと考えられるところですが、この意見書はそうした課題についても考えられてのものでしょうか。見解を伺います。

意見第１０号	ＰＣＲ検査等の拡充を求める意見書

○　通告第 １ 号　並木　隆一　議員

（１）ＰＣＲ検査等とあるが、検査には、ＰＣＲ検査、抗体検査、抗原検査などあり、その違いと拡充すべき検査は何と考えるのか。

（２）エッセンシャルワーカーらに優先的にＰＣＲ検査を実施することが求められるとしているが、職業差別にならないのか。

（３）保険適用による検査取り扱いの明確化とは、具体的にどういうことか。

（４）ＰＣＲ検査の受検者への対応の整備とは、具体的になにをすべきと考えるのか。

（５）ＰＣＲ検査等は現時点で一日どのくらいなのか、また、陽性率は何%なのか。

一日どのくらいまでＰＣＲ検査等の拡充をすべきと考えているのか。

日本では､総理大臣がＰＣＲ検査等を一日２０万件に拡充するとおっしゃっていたが、増えない原因は何であり、拡充のため、何を改善すべきと考えるか。

（６）ＰＣＲ検査等の受検を拡充した場合の費用負担はどう考えているのか。

（７）新型コロナウイルス感染症撲滅には、安全な治療薬の開発普及、安全なワクチンの開発接種が必須である。ＰＣＲ検査等の拡充はあくまで、新型コロナウイルス感染症撲滅に向け、感染者を把握し、隔離して感染拡大を防止することであると考える。

ＰＣＲ検査等の拡充は、新型コロナウイルス感染症撲滅まで続けるのか。

○　通告第 ３ 号　平　沢　健一郎　議員

（１）無症状による市中感染が拡大しているとあるが、詳しく説明を求める。

（２）検査難民といえる事態とあるが、詳しい説明を求める。

（３）ＰＣＲ検査の偽陰性については、どのような考えか。

（４）令和２年６月議会で、エッセンシャルワーカーとそれ以外の職業に区別することは職業差別とありました。この意見書では、エッセンシャルワーカーに優先的なＰＣＲ検査を求めているが、どのように考えるのか。

（５）ＰＣＲ検査等の体制は県と医師会が行っているが、公的検査機関等の増設をどのように行うのか。また、臨床検査技師はどのように増やすのか。